

第15回 **住** **宅** **系** 研究報告会

2020年12月4日(金)、12月5日(土)

会場：オンライン開催 (ZOOM) 要事前申込 (11月26日(木)締切)

昨年度に引き続き、住宅・住宅系まちづくり研究に関わる横断的な発表・討論の場を設定し、研究成果の共有や研究者間の交流を目的に、第15回住宅系研究報告会を開催します。

本年度は23編の優れた論文が集まりました。研究報告会では発表・討論の機会を重視し、司会とは別にコメンテーターを設け、意見交換や議論を通して、研究や活動が発展することを目指しています。

また、1日目夕方には、パネルディスカッションを開催し、総合的な議論の機会を設けます。

住宅・住宅系まちづくりの研究・実践に取り組む方々のご参加をお待ちしています。

□ 1日目(12月4日)

10:00~10:10 開会挨拶・主旨説明：山口 秀文 (神戸大学)

10:10~11:10 セッション1 **「住宅の利用と管理」** 3題

司会：関川 華 (近畿大学)、副司会：深井祐紘 (明星大学)、コメンテーター：鈴木 雅之 (千葉大学)

11:20~12:20 セッション2 **「郊外住宅地の居住・土地利用の変遷」** 3題

司会：益尾 孝祐 (愛知工業大学)、副司会：山口 秀文 (神戸大学)、コメンテーター：松浦 健治郎 (千葉大学)

13:20~14:50 セッション3 **「災害後の生活課題」** 5題

司会：三笠友洋 (西日本工業大学)、副司会：平田隆行 (和歌山大学)、コメンテーター：齋藤 雪彦 (千葉大学)

15:00~17:00

パネルディスカッション

「新しい生活様式時代 における住環境の現在と未来」

パネラー：松尾 信一郎 (株式会社五井建築研究所)

コメンテーター：住宅系研究報告会4委員会運営幹事
(都市計画、農村計画、建築計画、建築社会システム)

コーディネーター：平田 隆行 (和歌山大学)、三笠 友洋
(西日本工業大学)、友淵 貴之 (宮城大学)

□ 2日目(12月5日)

10:00~11:00 セッション4 **「空き家・遊休空間の活用」** 3題

司会：山口 秀文 (神戸大学)、副司会：益尾 孝祐 (愛知工業大学)、コメンテーター：内田 奈芳美 (埼玉大学)

11:10~12:10 セッション5 **「移住と住まい」** 3題

司会：渡邊 史郎 (国土技術政策総合研究所)、副司会：梅本 舞子 (筑波技術大学)、コメンテーター：山本 幸子 (筑波大学)

13:10~14:10 セッション6 **「地域における福祉施設の運営と利用」** 3題

司会：前田 昌弘 (京都府立大学)、副司会：宮原 真美子 (佐賀大学)、コメンテーター：藤岡 泰寛 (横浜国立大学)

14:20~15:20 セッション7 **「設計手法と評価」** 3題

司会：小山 雄資 (鹿児島大学)、副司会：内海 康也 (国土技術政策総合研究所)、コメンテーター：長谷川 洋 (国土技術政策総合研究所)

15:10~15:20 閉会の挨拶：平田隆行 (和歌山大学)

新しい生活様式時代 における 住環境の現在と未来

■ 第一部

「輪島カブーレの「ごちゃまぜ」はどうなったか」

松尾信一郎(株式会社五井建築研究所)

「withコロナ・afterコロナにおける住宅系の未来」

住宅系研究報告会 4 委員会運営幹事
(都市計画、農村計画、建築計画、建築社会システム)

■ 第二部 分科会

「withコロナ・afterコロナにおける住宅研究を考える」

コーディネーター：平田 隆行 (和歌山大学)
三笠 友洋 (西日本工業大学)、友瀨 貴之 (宮城大学)

2020年12月4日 (金) 15:00~17:00

オンライン開催 (ZOOM)

■参加費：会員 3,000 円、会員外 4,000 円、学生 1,500 円

※住宅系研究報告会2日間の参加費も含まれています。

■定員：70名 (申込先着順)

■申込方法：Webによる事前申込

■申込URL：<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637410>

■申込締切：11月26日(木)

企画：コーディネート：住宅系研究報告会 農村計画委員会幹事 (平田 隆行、三笠 友洋、友瀨 貴之)

COVID-19感染拡大による影響が続く現在において、私たちの住環境はどのように変化し、これからどのように変化していくのか。刻々と変化していく状況の中で住宅系研究報告会としては住環境に焦点をあて、現在について広く把握していくとともにみなさんと未来について議論を行いたいと思います。

今回のPDはII部構成としており、I部では、「ごちゃまぜ」をキーワードに活動してきた輪島カブーレの現在についての報告、そして都市計画、農村計画、建築計画、建築社会システムの4委員会に所属する幹事メンバーからみる住環境の現在についての議論を通じて、COVID-19による住環境の変化を広く知る機会とします。II部では、I部での議論を踏まえ、今後の展望について聴講者のみなさんを交えて議論していくことで、これからの住宅系研究のキーワードを見出す機会とします。

未知なことが多いテーマではありますが、住宅系研究者のみなさんがみている現在と未来を共有する場とすることでこれからの住宅系研究の1つの契機となればと思います。